



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 338
May
2021

トピックス

お知らせ

第1回ADRCオンライン防災セミナー：「災害に強い社会の構築に向けた防災投資のあり方」

国際会議への参加

APEC EPWG、SDMOFへの参加

ADRCスタッフ紹介

『中安祐介 ADRC主任研究員（IRP事務局）』

『田中智美 ADRC研究部スタッフ』

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
https://www.adrc.asia

© ADRC 2021

●お知らせ

第1回ADRCオンライン防災セミナー： 「災害に強い社会の構築に向けた防災投資のあり方」

世界的な気候危機や都市の脆弱性増大に伴い、仙台防災枠組（SFDRR）の実施に向けたメンバー国の継続的な努力にもかかわらず、近年、災害による被害は増加しています。人命を救うだけでなく国や地域の継続的発展のために、災害に強靱な社会の構築を様々な制度や技術により構築することが求められています。

ADRCは6月から上記問題意識を踏まえ、以下の3つのテーマに焦点を当てた複数回のオンライン防災セミナーを開催します。

- 1) 激化する気候危機や都市の脆弱性増大に対する強靱な社会の構築
- 2) 災害に対する備えの強化(防災教育、災害ボランティアの推進等)
- 3) 安全・安心で住みよい社会の構築に向けた、地域のニーズに合致する災害技術

第1回セミナーは、1)のテーマの下、2021年6月15日（火）に「レジリエント社会のための防災投資」を議題に開催されます。

ADRC ONLINE DRR SEMINAR SERIES 2021

First Seminar
Investing in Disaster Risk Reduction for a Resilient Society

 Dr. Jun Rentschler Senior Economist The World Bank, Washington, D.C.	 Mr. Ronald Jackson Head, DRR and Recovery UNDP, Geneva, Switzerland	 Dr. NISHIKAWA Satoru Professor, Disaster Mitigation Research Center Nagoya University, Japan	 Mr. NAKAGAWA Masaaki Executive Director Asian Disaster Reduction Center Kobe, Japan
--	---	---	---

June 15, 2021 (Tuesday)
18:00-19:30 (Japan Time, GMT+9)

アジアでは急速な都市化と開発が進んでおり、2030年までの世界のインフラ設備への推定年間投資額6兆米ドルの半分を占めると推定されています。ハード、ソフト両面での脆弱性の蓄積を回避するために、これらの投資に防災の視点を取り入れることが重要です。今回のセミナーでは、仙台防災枠組（SFDRR）、特に「優先行動3：災害に強い社会の構築へ向けた防災への投資」に寄与することを目的に、次のような問題意識を提示します。

- ・災害による被害と経済的損失を根本的に削減するためにメンバー国が適用できる災害リスクを踏まえた投資について、分析的、組織的、

続き

実証的観点から近年の知見を共有する。

- ・次の観点から、防災への投資を通じて災害に強い社会を実現するための主要要素の概要を説明する。
 - なぜ防災投資が必要か
 - これまでに達成したこと、今後、取り組むべきことは何か
 - 災害に強い社会を構築するための重要なポイントは何か

そのうえで、セミナーでは、世界銀行（WB）、国連開発計画（UNDP）、日本から講師をお招きし、以下の間に焦点を当て、議論を深めます。

- ・アジア諸国における防災、人々の幸福、持続可能な経済成長を妨げる開発上の課題は何か？
- ・社会的、経済的、文化的背景を考慮したリスクと脆弱性の評価手法は何か？
- ・災害による被害と経済的損失を根本的に減らすために、国と地方政府が更に採用すべき戦略は何か？
- ・国土・地域開発における災害リスクを確実に軽減するため、軽減戦略を他の計画（例えば、土地利用計画、開発計画、インフラ投資のマスタープラン等）と統合、もしくは調整する方法は？
- ・地方政府はどのようにして、優れたガバナンス、健全な資金調達、および制度的協力に焦点を当てながら、災害被害の軽減を効果的に実施することができるか？

本セミナーの詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.adrc.asia/acdr/drr2021seminar.php>

本セミナーへの参加については、ZOOMウェビナーから登録いただくか、YouTubeからライブストリーミングをご覧くださいこともできます。

ZOOMウェビナー：<http://bit.ly/adrcseminar1>

YouTube：<https://www.youtube.com/watch?v=CFAvtORinKA>

皆様のご参加をお待ちしています。

●国際会議への参加

APEC EPWG、SDMOFへの参加

2021年5月20日～21日、第17回APEC緊急事態への備え作業部会（EPWG17）会合が開催されました。会合では（1）新型コロナウイルス感染症対応に対するEPWGのイニシアティブ、（2）EPWG戦略計画2021-2024及びEPWG業務指示書、（3）APECプロラジャヤ・ビジョン2040実施計画、（4）他の作業部会との連携、（5）能力強化事業等が主要な議題となり、EPWGの今後の計画、実施に向けた議論や、最近の災害発生、対応状況についての情報共有が行われました。

続いて5月26日、APEC 第14回防災担当高級実務者会合（SDMOF14）が開催されました。（1）新型コロナウイルス感染症を考慮した、災害予防、対応、復興対策を含めた防災政策の検証、（2）インクルーシブで偏りのない防災をテーマにAPEC加盟エコノミーから報告がありました。

アジア防災センター中川所長は両会議に参加し、新型コロナウイルス感染拡大下における避難所の安全な運営方法などの災害時の対応について、日本の知見を紹介しました。またSDMOF14のテーマ（2）のセッションではポトゥタン主任研究員が、テーマ（2）に関してモデレータを務めた他、同テーマに関する日本の事例を発表しました。

●ADRCスタッフ紹介

中安祐介 ADRC主任研究員（IRP事務局）

2021年4月1日付けにて兵庫県庁から派遣されました、中安祐介と申します。

前職の兵庫県国際経済課では、中小企業の海外展開支援や地域間経済交流の促進を担当しておりました。前職で印象に残っているのは、経済交流会議開催のためベトナムに出張した際、ハノイでのベトナム首相と兵庫県知事の会談に同席したことです。

防災関連では、2002～2003年度に、内閣府防災担当で勤務し、主に地震防災対策に従事しました。さらに、2004～2006年度に、阪神・淡路大震災からの復興を支援する業務に携わりました。

私はいま、17の政府や国際機関で構成される国際復興支援プラットフォーム（IRP）の事務局で勤務しています。地方自治体の職員がこれほど国際的な枠組みのなかで勤務する機会は大変少なく、自己キャリアのステップアップにつながるものと考えています。

「より良い復興」（Build Back Better）の実現に向け、微力ではございますが尽力してまいります。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



田中智美 ADRC研究部スタッフ

4月1日よりADRCのスタッフとして勤務することになりました、田中智美と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

実は過去2回のアジア防災会議でも事務局の一員としてお手伝いさせていただいておりましたが、この度通年で勤務させていただくことになりました。

これまで数々の国際会議の事務局スタッフをしてきました経験やフリーランスの翻訳・通訳をしてきました経験を活かして、ADRCとメンバー国や関係者の皆様との間のコミュニケーションをより円滑にすることで、防災にまつわる様々な有用な情報をより効率的に発信・共有する一助となればと思っております。

これまではACDR会期中のみの勤務で皆様とはお会いすることはできませんでしたが、今の状況ではすぐには難しいかもしれませんが、近い将来、直接お目にかかれる日が来るのを楽しみにしています。



問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。